

国士舘大学大学院 人文科学研究科 入学試験問題
令和八年度 修士課程 第I期入学試験

人文科学研究科	研究科	人文科学	専攻	古文書	試験科目	九〇分	解答時間
---------	-----	------	----	-----	------	-----	------

問題 別紙①～②の史料を解読し、次の要領で筆写しなさい。

- 1 字体・字詰め
漢字 正字もしくは常用字体の漢字とする。
仮名 変体仮名、合字は原本のままとする。
改行・闕字 原本通りとする。

- 2 句読点
赤鉛筆で、読点（、）を付ける。

- 3 文字以外の表記
史料集において通常用いられる様式による。

- 4 その他
史料一点ごとに解答用紙を替える。解答の順序は問わない。
史料中に押されている印に関する記述は不要。

著作権の関係上、具体的な文章は
過去問題上公開いたしません。
出題の意図と採点のポイントに記載された
出典を参考にしてください。

令和8年度 国土舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	人文科学研究科 人文科学専攻
試験期別	I期
試験区分	一般選考
試験科目名	古文書(日本史学、東洋文学、地理学)

■出題の意図

日本史研究に必要な最低限のくずし字の解読力を身につけているかどうかを判断する問題である。①は飯盛女奉公に関する江戸時代の古文書(本山宿関係資料、考古・日本史学コース所蔵)である。内容としては珍しいものではあるが、読み方自体はそれほど難解ではない。おおよその内容が理解できているかどうかを問う。②は前宮御棧敷に関する文書(断片)である。癖が強い字で読みにくいものではあるが、一字一字を正しく読みとれているかどうかを判断する。総じて、大学院にて資料調査に携わる際に、古文書目録を採ることができる基礎的な能力を有しているかどうかを判断する意図で出題した。

■採点のポイント

それぞれの古文書の内容が正確に理解できているかどうかを判断する(細部の誤字等については減点としない)。

目安としては、1と2をあわせて、全体の90%以上読めていれば満点。それ以下、80%程度であれば90点、70%程度であれば80点、50%程度で60点という目安で採点する。